

水辺調査

水辺の
安全教室

カヌー体験

自然体験

清掃活動

環境学習会

自然観察会

森・植物を
守る

地域づくり

やま さき がわ

かい

山崎川をきれいにする会

目的

身近な河川のある本郷小中学校とそのOB及び地域住民とが連携した山崎川周辺の美化活動を通して地域環境の保全に努めながら、子どもたちが川遊びできるようにする。また、住民には、安全な散歩コースとしての利用を図り、親しめる川づくりを目的に活動する。

沿革

この河川は、宮崎県立看護大学設立に伴い、まなび野住宅団地開発が行われ、平成6年～平成9年度都市河川改修事業多自然川づくりで整備された。その後管理が行き届かず雑草が繁茂し、川に近づけない状況にあった。平成23年3月、「カワセミ」を散歩中に見たことを契機に、きれいな川にすることを話し合い、草刈りをしようと本郷中学校及びPTA関係者・OBと地域住民等に呼び掛け、山崎川を清流にもどす有志の会を設立した。平成30年4月、山崎川をきれいにする会に名称変更した。

基本情報

- 団体名
山崎川をきれいにする会
- 代表者
飛松 國輝
- 設立
平成23年10月1日
- 住所
宮崎市希望ヶ丘1丁目18-10
- 電話
0985-56-3083
- FAX
0985-56-3083
- E-mail
k-tobimatsu@gem.bbiq.jp
- 活動エリア
山崎川
- 団体構成
総人数：50名

夢

身近な山崎川周辺を本郷小中学校とそのOB及び地域住民とが連携し、四季を通じて草花が咲き、「桜の名所」、「ホタルの名所」などを整備する。子どもたちが川遊びできるようにする。また、住民には、安全な散歩コースとしての利用を図り、健康づくりに役立てるなど親しめる川づくりを目的に活動します。

活動内容

水辺環境保全に草刈り、ゴミ拾いなどを行い、川周辺に草花やサクラ・ヤナギ等を植え、メダカ・ホタルなどを生息させ保全にも取り組みます。また、地域の子供は地域で育てる主旨に沿い、学校と地域とが連携する自然体験学習による思い出に残るふる里づくりを実施しています。

①草刈りと美化活動

河川パートナーシップ事業に応募し、年間3回の草刈りを行い、子どもたちは川のゴミ拾いと水質や水生生物等を調べるなど環境の大切さに気づかせます。参加者は会員他スポーツ少年団や本郷小中学校及び宮崎農業高校、南九大関係者、地区消防団等の趣旨に賛同する地域住民や定年退職者等で構成される。

②五感を使った水辺環境調査

宮崎土木事務所より身近な水辺のモニター調査の委嘱を受け、COD他、水生生物を調べ、本郷中学校の生徒に自然環境の大切さを実感させます。

③総合的な学習支援への取り組み

児童たちは、身近な河川の大切さを知り、川の様子や水質を学び人々の生活がどのように関わっているかを調べ、川に棲む魚や水生生物を観察して命の尊さや自然を大切にすることを育む。また、児童たちがコスモスの種を蒔き、育て、川沿いに景観教室で学んだ一人ひとりの作品灯ろうをコスモス小径に並べ、灯ろう祭りをするなど地域住民が先生となって、思い出の川づくりを行います。

④ホタルの里づくり

ホタルの保全にゴミ拾いやカワニナの餌にキャベツを与え、シーズン中は、カーライトからホタルを守る寒冷紗ネット設置などの活動を行います。

表彰歴

- 平成29年度 宮崎県知事賞
地域環境保全功労者賞
国土交通省宮崎国道事務所
行政功労賞
- 平成30年度 本郷小学校が、宮崎県「美しい宮崎づくり大賞」部門賞を受賞し、
県・市教育委員会主催「地域学校パートナーシップフォーラム」において、自然体験学習等の取組について事例紹介された。
- 令和元年度 九州地方整備局国土交通行政功労局長表彰 部門「地域協働の河川管理の推進における功労」

活動の様子



週末は、山崎川や国道・県道・市道等に不法投棄されたゴミの美化活動を早朝にしています。川・海に流れてくるゴミを少なくなり、する自然環境の保全と美しい宮崎づくりに貢献できると考えています。

拾ったゴミ成果は、投棄ゴミ約50リットル、空き缶・空きびんやペットボトルなど50個程度を毎週拾います。ゴミ拾いする姿を見た人たちがきれいな川づくりの理解者であり、草刈りや自然体験学習支援スタッフなど大勢の方々が参加協力を頂きます。

何時でも何処でも一人でもできる優しい心掛けがきれいな川づくりになると考えます。大リーグ大谷選手が何気なく自然体でゴミを拾う報道がありました。小さな行動"一日一善みんなで頑張りましょう"